

学園だより 16

～東河小学校・東河幼稚園～

明治4年10月、発盲館はつもうかんと称し開校された本校は、百35年の歴史と伝統を誇る学校です。

山並みはゆる東河の里ながめすがしき学びやはふじわら(詩・藤原東川)と、

校歌に唱われている白亜の校舎は、平成

9年に竣工、充実した設備の特別教室・

体育館、そして、各教室にはゆつたりと

した多目的スペースが配置

されています。この恵まれた環境の下、



135年の歴史を誇る東河小

みんなのめあて

- ・ かんがえる子
- ・ 自ら学び 考え 行動する子
- ・ やさしい子
- ・ ところ優しく、たくましい子
- ・ つよい子

ねばり強くやりぬく子
を目標に、全ての東河っ子が、素直に、元気に、生き生きと、学習に取り組んでいます。

オンリーワンスクール事業

―天まで届け 青龍太鼓―



運動会での太鼓演奏

平成10年、長胴太鼓1台と、手づくり太鼓数台で出発した「東河青龍太鼓」は、今では、東河地区協議会、東河幼小PTAの皆さんからのご支援をいただき、6種類(18台)の太鼓が整備され、全校児童が太鼓演奏に取り組んでいます。
平成18年度は、

1・2年生 「こどもエイサー」

- 3・4年生 「まつりだいこ」
- 5・6年生 「せんだん」

に取り組み、運動会・地区文化祭・朝来市学校音楽祭・オープンスクール等で成果を発表し高評を得ました。演奏を終えた子どもたちは、

「練習は厳しかったけれど、みんなと一緒に曲を完成できたことがとても嬉しい。これからも太鼓を続けたい」と、充実した表情で感想を話してくれました。

この活動を通して、子どもたちの豊かな表現力やねばり強くやりぬく力、仲間を思う優しい心が育つています。

校区の宝樹齢百年の「せんだん」

本校の移り変わりを見守ってきた校庭の大木「せんだん」です。平成元年に県郷土記念物に指定されました。子どもたちもシンボルツリーとして親しみ、写生大会では欠かせない題材となっています。



正門左にそびえ立つ校樹「せんだん」

「アオバズク」のすみかにもなっていて、平成6年に県農林水産部より「愛鳥モデル校」の指定を受けていますが、環境の変化から近年姿を見せず、再びの飛来をみんなで願っています。

きらきら輝く東河幼稚園



自分たちで耕した畑で、さつまいもの苗差し

『友だちと心はずませ

生き生きと遊ぶ子』

東河幼稚園では、友だちとのふれあいの中から学ぶ道徳教育や絵本の読み聞かせ、音楽鑑賞、飼育栽培による情操教育に力を入れています。

また、身近な自然を生かした遊びやクッキング等の体験学習なども取り入れたり、保育所や小学校、地域との交流保育も実践しています。

身近な環境を生かしながら、素直で明かるい東河っ子の育成をめざしています。

次回は梁瀬中学校です